

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	05	30	たかつランドマーク保全活用事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671700		まちづくり推進部地域振興課			坪	64351

事業の概要									
事業の概要			高津区のランドマークとなっている歴史的・文化的資源等の保全・活用を推進し、区の魅力を発信するとともに、憩いの場や賑わいの創出を図る。						
実施期間			事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域資源活用事業	
			平成14年度		—				
地域の課題と現状			都市化によりまちの緑が減少している中、緑地や水辺の整備、花と緑のまちづくりの推進により潤いのある空間を創出する必要がある。久地円筒分水、かすみ堤については、雑草の繁茂が激しいため定期的な除草を行い、桜等については樹齢が高いものがあり樹勢回復が欠かせない。各ランドマーク施設等について、地域コミュニティの場としても活用し、地域の魅力づくりを進めていく。						
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	3,192	3,177	4,865	4,090	16,631	13,778		
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財	113	81	113	74	81	74		
財源内訳	一般財源	3,079	3,064	4,752	4,016	16,550	13,704		

計画 (Plan)	
事業の目的	各ランドマーク施設等について区民の憩いの場として、引き続き区民と協働で良好な状態を保てるよう維持管理を行うと共に事業を通して地域コミュニティの活性化を図る。
今年度の事業の取組内容	(久地円筒分水)月1～2回の美化活動。体験イベント2回実施。業者による剪定の実施。 (かすみ堤)桜の樹勢回復の推進及び草刈りの実施。 (花と緑のたかつ推進)区民ミニ・ガーデン連絡会による区内各所に設置したコンテナ・花壇の適正な維持管理及び植栽体験の実施。委託によるキラリデッキ円筒広場の花苗植栽管理。

実施結果（Do）											
上記取組内容に対する達成度			3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等			(久地円筒分水)美化活動を14回実施。体験イベント2回実施。剪定の実施。 (かすみ堤)桜の樹勢回復の推進及び草刈りの実施。 (花と緑のたかつ推進)区内各所に設置したコンテナ・花壇の適正な維持管理。委託によるキラリデッキ円筒広場の花苗植栽管理とキラリデッキ植栽体験の実施。								
数値で把握することが可能な取組			指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
			1	活動指標	(久地円筒分水)ボランティアとの協働による美化活動の実施	目標	17	17	16		回
						実績	15	17	14		
			2	活動指標	(久地円筒分水)美化活動体験イベントの実施	目標	1	2	2		回
						実績	1	2	2		
			3	活動指標	(かすみ堤)地域住民との協働による美化活動の実施	目標	2	2	2		回
						実績	2	2	2		
			4	活動指標	(久地円筒分水・かすみ堤)植栽の専門的な維持・管理	目標	2	2	2		回
						実績	2	2	2		

評価（Check）

事業を取り巻く社会環境の変化		久地円筒分水サポートクラブの活動について、高齢化が進んでいる。また、かすみ堤については、高津区市議会議員懇談会から利活用に向けた検討を進めることが要望されている。			
事業の見直し・改善内容		■ 実施（直近）28 年度 □ 今後実施（ 年度から）			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		平成28年度からサポートクラブの自主的な活動として、市公園緑地協会の助成金を活用した花植えプロジェクトをスタートするとともに、サポートクラブの新たなメンバーの確保を目的として、一般区民を対象とした美化活動体験イベント等を開催している。かすみ堤については、利活用を行う団体が維持管理を行う枠組みを構築した。			
評価項目					
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	各ランドマーク施設等について区民の憩いの場として、適切に維持管理していくためには、引き続き区民との協働により効率的に事業を推進する必要がある。			
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	久地円筒分水においては、美化活動以外でも大学生ボランティアや小学校での講演会の実施など、一定の成果があったと考えられる。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか		a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	自立的に活動できるような支援手法を引き続き検討するとともに、専門的な維持管理については道路公園センターと協議を行いながら効率的かつ効果的な手法を検討していく。			

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	Ⅰ．現状のまま継続 Ⅱ．見直し・改善のうえ継続 Ⅲ．事業終了	Ⅰ	今後も各ランドマーク施設等について、維持管理するとともに、関係団体がより自立的に活動できるような支援手法を引き続き検討していく。また、専門的な維持管理については道路公園センターと協議しながら効率的かつ効果的な手法を検討していく。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
58	05	25	26	05	45	地域資源を活かしたまちづくり推進事業		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			671650		まちづくり推進部企画課		吉田	64123

事業の概要									
事業の概要		区内の地域資源を活かした回遊性のある魅力的なまちづくりを推進するため、「高津のさんぼみち」に関するサインの整備及びガイドマップの制作を行うとともに、収集した古写真等を活用する「高津区ふるさとアーカイブ」の運用を推進する。また、区内の各駅周辺等の既存サインについて、広告収入を活用しながら改善を進める。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域資源活用事業		
		平成23年度		—					
地域の課題と現状		高津区には、歴史、文化、自然など豊富な地域資源が存在するが、これらをつ結び付けるための回遊ルートの設定と案内表示の整備及び情報発信が課題である。 また、駅前等における既存公共サインは表示内容が古く、デザインが統一されていない等の課題がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,034	1,780	2,775	2,027	3,100	2,786		
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
		その他特財	396	396	396	396	530	384	
一般財源		1,638	1,780	2,379	1,631	2,570	2,402		

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区内の歴史・文化・自然などの地域資源をつなぎ付け、回遊性のある魅力的なまちづくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	・高津のさんぼみち等を活用したウォーキングイベントの開催 ・歴史的資料を活用した地域資源の魅力発信 ・公共サインの改善・整備・維持管理

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	「高津のさんぼみち等を活用したウォーキングイベント」については、地域資源を活かした謎解きまちあるきを実施し、地域の魅力を伝えとともに、市制100周年の盛り上げにも寄与した。また、「高津のさんぼみち」3コース分を時点修正して増刷した。公共サインについては、溝ノ口駅ペDESTロリアンデッキ上の老朽化した掲示板の撤去を行い、デッキのリニューアルを進めた。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	高津のさんぼみち等をを活用したウォーキングイベントの開催	目標	1	1	1		回
				実績	1	1	1		
	2	成果指標	公共サインの改善・整備・維持管理	目標	1	1	1	箇所	
				実績	1	1	1		
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		公有財産の有効活用による公共サインの持続可能な維持管理の取組が全国的に進んできている。また、公共サインの多言語化についても継続的な取組が求められている。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 4 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		本事業は、令和4年度に「旧地域資源ネットワーク事業」と「旧高津ふるさとアーカイブ事業」を統合して設立されたものであり、旧2事業に含まれる内容が近いと思われる事業についてはひとつの業務に統合した。		
評価項目				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域の歴史や魅力を伝える取組は継続して実施する必要がある。また、サインについては、多言語化等、社会環境の変化に応じた継続的な見直しが必要とされる。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	高津のさんぼみちは地域団体のイベント等で利用されるなど、成果は上がってきていると考えられる。また、公共サインの改善についても、財源を独自に確保して安定して進めることができている。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	公共サインの改善については、広告掲載事業を継続実施し、経費の一部を確保している。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	今後も「高津のさんぼみち」の時点修正を行いながら、さんぼみちを活用したまち歩き等の取組を進めて引き続き多くの人に地域の魅力を伝えていく。また、老朽化した公共サインの更新、改善を順次進めていく。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称	
款	項	目	大	中	小		
58	05	25	26	05	25	高津区プロモーション推進事業費	
担 当			所属コード		所属名		担当者
			671650		まちづくり推進部企画課		連絡先
							山森
							64122

事業の概要										
事業の概要		・高津区の区政情報を広く区民に周知するため、ガイドマップなどさまざまな広報媒体を活用して、効果的な情報発信を行う。区内の地図や公共施設一覧、バス路線図、防災情報、区役所の電話番号案内などを掲載したガイドマップは、区役所にて転入者全世帯に配布するとともに、区内各公共施設にて希望する区民に配布する。 ・重要な施策を広く区民に周知する。								
		事業開始年度 平成23年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業費		
地域の課題と現状		多様化する生活様式のなかで、一人でも多くの区民に適切な情報を伝達できるよう配慮する必要がある。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	2,398	2,133	2,948	2,565	2,976	2,173			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財					292	329		
一般財源		2,398	2,133	2,948	2,565	2,684	1,844			

計画 (Plan)	
事業の目的	区政情報を広く区民に届けることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	・区民意見を反映したガイドマップの作成・配付、効果的な広告募集方法の検討。 ・市制100周年の広報

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	・ガイドマップの作成21,000部 ・区内公共施設等16箇所、その他市内9箇所に配布。広告掲載12件（12枠） ・市制100周年ロゴマークをデザインしたイルミネーション及び説明板を制作して出展した（期間：R6.11.8～R7.1.31）								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	ガイドマップの作成	目標	23,000	21,000	21,000		部
				実績	23,000	21,000	21,000		
	2	活動指標	イルミネーションを活用した情報発信	目標	1	1	1		回
				実績	1	1	1		
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		区民が、区に関する基礎的な最新の情報を身近に得られることで安心して日常生活を送れるよう、区内の地図や公共施設一覧、バス路線図、防災情報、区役所の電話番号案内などを、広報媒体を活用して、効果的な情報発信を行う必要がある。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	毎年、地図面や記載情報の更新があるため、ニーズは高いと考えられる。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	転入世帯以外にも配布希望があることから一定の成果があったと考えられる。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	ガイドマップについては、区内施設の変更や掲載情報に関する調査や、市民アンケート等に基づく実現可能な変更などによる見直しを行う。その他、区の重要施策について効果的な広報ができるよう、時期や方法などの見直しを行う。 イルミネーションについては、冬の溝口駅前の風物詩となりつつあり、広報効果等を見ながら検討を行う必要がある。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	05	40	たかつ魅力ネットワーク推進事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671650		まちづくり推進部企画課			吉田	64123

事業の概要										
事業の概要		区における歴史的な名所や農風景、ものづくりなどの高津区の地域資源を活用した魅力づくりを推進する。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域資源活用事業			
		平成21年度		—						
地域の課題と現状		さらなる地域活性化の推進に向けて、担い手となる人的資源の相互交流や連携強化等の相乗効果により、事業を効果的・効率的に実施するとともに、持続可能な執行体制のあり方の検討も進めていく。								
予決算 (単位:千円)	年度 財源内訳	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費	3,218	2,729	3,614	2,357	3,275	2,839		
		国庫支出金								
		市債								
		その他特財					10	22		
	一般財源	3,218	2,729	3,614	2,357	3,265	2,817			

計画 (Plan)	
事業の目的	【大山】高津大山街道及びその周辺に残っている歴史的・文化的な地域資源を保全・活用 【たちばな農】高津区の橋地区における「農」の地域資源を活用 【ものまち】区内ものづくり企業と地域住民との交流及びものづくりの魅力発信による「住工共生のまちづくり」の推進
今年度の事業の取組内容	【大山】大山街道の魅力発信のとして、大山街道アクションフォーラムとして、食イベント、まちの企画室関連イベント、大山街道歴史ウォーキングを実施する。 【たちばな農】農業者と区民が協働し、食と農の資源を発見するため、さんの市等を実施する。 【ものまち】オープンファクトリー等における広報等の協力及び工場見学・ものづくり体験授業等を通じた区内小学生へのものづくりの魅力伝達。

実施結果（Do）										
上記取組内容に 対する達成度	2		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	【大山】大山街道の魅力発信を行うため、大山街道アクションフォーラムとして、食イベント1回、まちの企画室関連イベント6回、大山街道歴史ウォーキング2回を実施し、目標を上回る7,000人の参加者を集めることができた。 【たちばな農】農業者と区民が協働し、食と農の資源を発見するため、さんの市6回、農体験1回、フォトコンテスト1回実施。 【ものまち】区内工業会主催のオープンファクトリー等でのイベントについて実行委員会として参加し広報等に協力、また、小学生を対象としたものづくり授業を1回、工場見学会を1回実施。									
数値で把握することが可能 な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指 標	【大山】まちの企画室等イベント参加者数	目標	300	1,000	5,000		人	
				実績	1,150	6,000	7,000			
	2	活動指 標	【大山】まちの企画室等イベント回数	目標	6	4	6		回	
				実績	6	8	9			
	3	活動指 標	【たちばな農】さんの市開催回数	目標	6	6	6		回	
				実績	6	6	6			
	4	活動指 標	【ものまち】工場見学会開催回数	目標	1	1	1		回	
				実績	1	1	1			

評価 (Check)

事業を取り巻く 社会環境の変化		今後市内の人口が減少すると考えられるなか、事業の実施を通して、地元の農業や自分が住むまちへの区民の関心を高め、より地域の魅力を向上させることが求められている。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 4 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる 場合は記載		本事業は、令和4年度に「旧地域資源ネットワーク事業」と「旧高津区ふるさとアーカイブ事業」を統合して設立されたものであり、旧2事業に含まれる内容が近いと思われる事業についてはひとつの事業に統合した。		
評価項目				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民ニーズ調査においても、「多くの区民が参加できるようなイベントを開催する」ことが望まれている。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業を通して実施したイベントの来場者が前年比及び目標から上回った。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体等と都度協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めていく。		

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	イベントの実施を通じ、地域の魅力を向上させるとともに、地域に主体的にかかわる層を増やすことを目指していく。